

なぜ「国民連合政府」か

Correspondent 外国特派員協会



共産党・志位委員長 大いに語る

日本共産党の志位和夫委員長は10月15日、日本外国特派員協会「なぜ『国民連合政府』か——政府構想の意義について」をテーマに講演し、「戦争法廃止の国民連合政府」の「提案」について縦横に語りました(左写真)。そのうち政権構想の意義として述べた3点の概要を紹介します。

1 本気で、戦争法を廃止し、立憲主義を取り戻そうとすれば、実行する政府が必要

戦争法を廃止するためには、廃止を求める勢力が衆議院と参議院で多数を獲得し、廃止法案を可決することが不可欠です。同時に、それだけでは足りません。集団的自衛権行使を容認した「閣議決定」が残ります。これが残る限り、デタラメな憲法解釈が続き、立憲主義がないがしろにされた異常事態が続きます。戦争法廃止と、「閣議決定」の撤回という2つの仕事を、本気でやろうとすれば、それを実行する政府をつくる必要不可欠となってきます。

2 本気で、安倍政権を打倒しようとするならば、それに代わる政権構想が必要

私たちの「提案」は、野党間で政策的な相違点があるもとでも、それを横に置いて、“戦争法廃止、

立憲主義の回復”——この一点で、この国民的大義で、一致するすべての政党・団体・個人が共同して連立政府をつくらうというものです。「小異を捨てて大同に」という言葉がありますが、私たちの提案は、「大異を横に置いて大同に」というものです。

3 本気で、選挙協力を成功させ、自公を打ち負かすためには、国民的大義が必要

野党が選挙協力を行ったとしても、自公に打ち勝つのが容易ではありません。勝つには、国民的大義をはっきりと示す必要があります。「戦争法廃止、立憲主義回復、国民連合政府」という国民的大義を明確に示し、野党が、共同して政権を担うというところまで互いに腹を固めてこそ、その本気度が国民に伝わり、勝ち抜くことができる、と思います。



講演全文と一問一答は、日本共産党ホームページより。「動画」もあります。

力をあわせ、戦争法を廃止しよう



参議院(東京選挙区)予定候補
弁護士・30歳
やまぞえ・たく

山 添 拓



都議会議員(北多摩1区選出)

おざき・あやこ

尾崎あや子

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2015年10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可